

さら

しな

歩

紀

あるき

八幡・桑原・稻荷山



目次

発刊にあたって

● 八幡

八幡の興り	1
八幡マップ	2
八幡ガイド	4

● 桑原

桑原の興り	45
桑原マップ	46
桑原ガイド	47

● 稲荷山

稲荷山の興り	70
稲荷山マップ	71
稲荷山ガイド	72

● 善光寺街道

善光寺街道マップ	86
善光寺街道ガイド	87

歳時記

・	89
・	
・	
・	
・	



八幡の興り

古時は小谷の庄（後更級の庄）と称して京都男山岩清水八幡宮の所領であった。冷泉朝の安和年間に八幡宮を小谷郷おうなに建つと古記録にある。八幡の名は八幡宮に関連し、南北朝時代の記録に出てくる。慶長7年の検地帳に2504石余とある。郡・志川は戦国時代の文章にあり八幡三か村と言ひ、千曲川の対岸の向八幡に対して本八幡と言った。慶安時代は中原・代・峯が枝村となった。大池は慶長の記録に大池村69石とある。江戸中期以降門前町として姨捨・北堀・森下・新宿・辻・上町が発達した。今の八幡村の形態の出来上がったのは明治5年である。

⑧ 斎の森と献燈台



大頭祭のお練りの神事がここより始まるのは、八幡宮、つまり先の宮を守る役目が斎の森にあったか。八幡宮を遥拝するにも交通上敵地である。斎の森の大櫨（市の指定）は切り株より500～600年以上と推定される。献燈台は八幡宮、善光寺、八日市に関係したもので大正9年当時の窯業と煉瓦職人の遺産「三重県津市立合町煉瓦職人清水万吉」銘。以前は灯が点されていた。

⑨ 松田家住宅主屋



16世紀前半永正年間から天文年間に築造された。松田家は相模国足柄郡松田郷の出身で、武田氏に仕えた。八幡宮に奉仕し元亀元年、武田氏より東徳寺支配の朱印状を受け、上杉景勝に使え稲荷山城を譲り、八幡領一円を安堵された宮司の住宅としては、県下で最も古い貴重な建造で、平成16年県宝に指定され、平成19年復元改築された。（県宝建造物）

⑩ 松田家の館跡



館跡は四方に土塁を高く積み、一見お城跡を思わせる。正面に仲秋祭に神楽を迎える神殿造りの玄関が重厚さを醸し、西北の角には歴代神主の霊廟がある。裏手に雪室があり、熱のある病人に活用され重宝がられた。歴代の古書は史家により解読されつつある。平成18年県史跡として指定文化財となり、修復復元が進められている。平成25年完了予定。（県史跡）

行事

●送り火大池の「百八灯」

松代藩初代藩主真田信之の妻小松姫（本田忠勝の娘後に徳川家康に養女）の輿入れに際し、その化粧料として徳川家より贈られた土地。（大池新田 5 2 石、小島田村 4 8 石）。小松姫没後元和 9 年頃から（元和 8 年姫の菩提寺松代の大英寺）大英寺 1 3 世諦譽上人が「人間の 1 0 8 の煩惱を慰めるために 1 0 8 の灯火を上げて送り火とするがよい」と勧められたことにより、8 月 1 6 日麦稈を集め、一本松沿え村中よりよく見える場所ですようになった。

●万年様（大池）

大池地区には上田城主真田信之の妻、小松姫の法名「大連院殿英譽皓月大禪定尼位」の位牌がお堂「大皓庵」に、今の大池公民館敷地内にあり安置されていた。この小松姫を万年様と呼び、毎年八十八夜には小松姫の供養法要を老人会が主体で、現在も大池公民館で執り行っている。この万年様には上田市諏訪部の芳泉寺より元和 8 年（1 6 2 2 年）に御霊堂を松代の大英寺に移されたが、この時も千年も万年も供養する意味で万年様と呼ぶようになっているとのことである。

●「姨捨観月祭」

棚田に映る月を「田毎の月」と云い、平安の昔から日本三大月の名所であった。例年仲秋の名月には「信州さらしな姨捨観月祭」が長楽寺を中心に開催されている。毎年全国より句の応募をして優秀の句一句が石碑に刻まれる。催しとしては全国俳句大会・姨捨市・観月祭・名月のさと女性セミナーによる月見汁の無料配布もある。

●中原の獅子舞

宝暦元年の正月、丸一と称する神楽芸人が中原に泊まり、村の人達に獅子舞をみせてくれた。この芸にすっかり感じ入った姨捨正宗酒造の和田家の先祖が、この芸人を一ヶ月ほど自宅に泊めて中原の人達に芸の伝授を請うた。これが今残っている中原の獅子舞で、八幡から小県にかけてこの獅子舞の影響を受けているところが多い。

伎楽面木造獅子(市有形文化財)



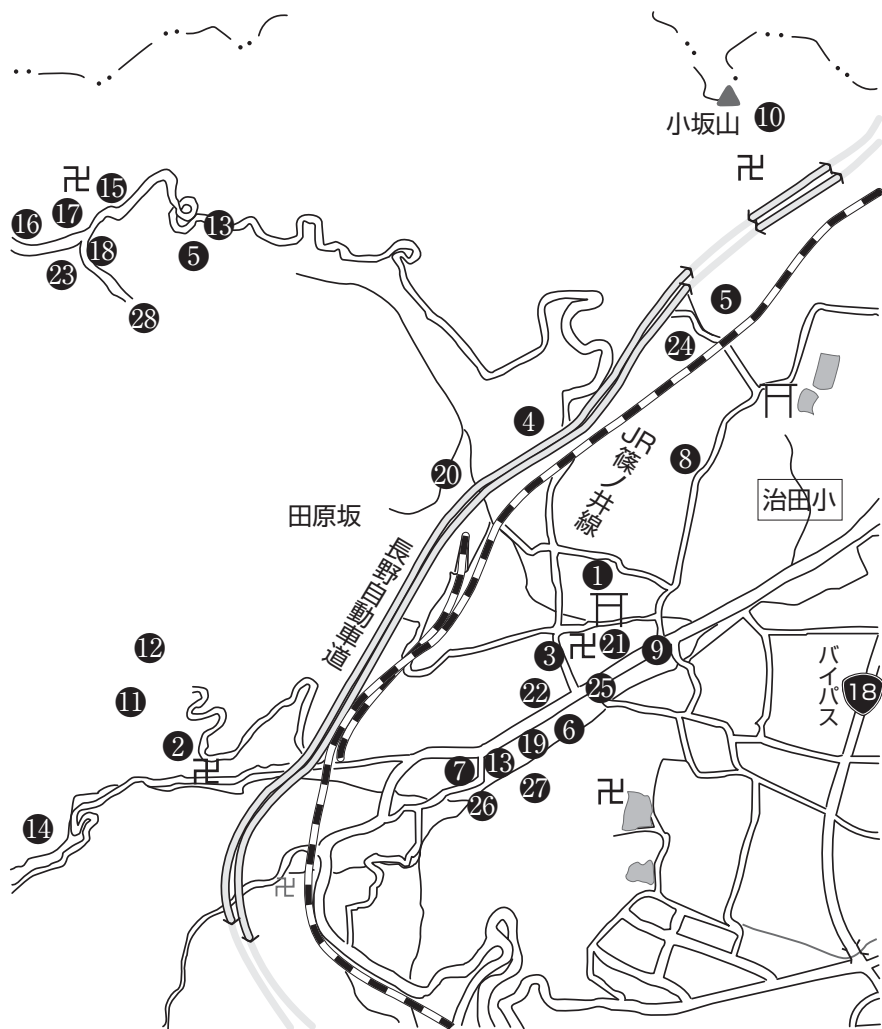
大頭祭(新嘗祭)の夜祭に総代に担がれて登場するもので、13日夜に闇の中で神饌を神前に献進する「御供備祭」(ごくつみ)を行うが、この時大頭のみが大鳥居から拝殿まで、この獅子頭や伎楽面を奉持して夜練りする。その獅子頭・伎楽面を拝殿に安置してその前で神事を行ってから、御供積みを行う。夜練りにのみに公開されるもので普段は見るができない。

武水別神社頭人行事(国無形文化財の記録選択)

毎年12月10日～15日にかけて行われ、豊作を祝う収穫祭つまり新嘗祭が大頭祭である。起源は当社の「御頭帳」によれば文禄元年(1592年)から頭人の名が記されている。この祭りに奉仕する「頭人」「頭殿さん」は八幡・羽尾・五加の七郷より5人選ばれ5・4・2・1番頭を順次勤めてから三番頭を勤める。最高位の三番頭の頭人を「大頭」(だいとう)と呼ぶところから「大頭祭」と呼ばれる。



桑原の地図



・地図番号と各項目番号は同じ

24 宮本新次郎翁之碑 (みやもとしんじろうおのおひ)



明治39年(1906)3月、桑原村小坂区の宮本新次郎外四名が、長野大林区署長に「不要存置国有林売払願」を提出し、明治39年5月16日付で村内官林実測9町2反9畝22坪を211円56銭で買収に成功した。その後買収地は桑原村有地となったが、小坂区では明治41年6月「桑原村小坂区営林組合」を結成、同山林を借地の形をとりながら、小坂区有林として経営することとなった。宮本新次郎氏は初代小坂営林組合長で、しかも上手な運営をされた。(小坂区公民館敷地内)

25 共同井戸の記録から

私の家の近隣数戸で管理の浄光庵参道脇にある共同井戸管理記録「明治35年共同井戸新設出品記録」などから、その移り変わりを考えてみたい。新設当時の加入者数は庵の近隣14戸で、一戸宛、縄又はモッコ一把と金10銭の拠出、8日間の労力提供で造られ、総工費1円10銭6厘とある。その後加入者は20数戸に増加し、新年には藁を持ち寄って縄をない、釣瓶などを新調し井戸替えを行い、作業後、酒、こんにゃく、豆腐など購入、米、味噌、野菜を持ち寄って酒宴を催している。何年かに一度は数日間の労力奉仕で、屋根、石垣の補修がおこなわれた。太平洋戦争の前後は疎開者受け入れにより加入者数40戸にも増加した。昭和29年簡易水道が引かれ、井戸の必要性は減ったが、私が嫁いだ昭和40年頃はまだ秋の漬物洗い、洗濯等に井戸水を使っていた。加入者は減少したが、今でも6戸で正月には、持ち回りで【井戸のお茶】会をおこない、記録簿を保管している。

(柳澤常子さん提供)



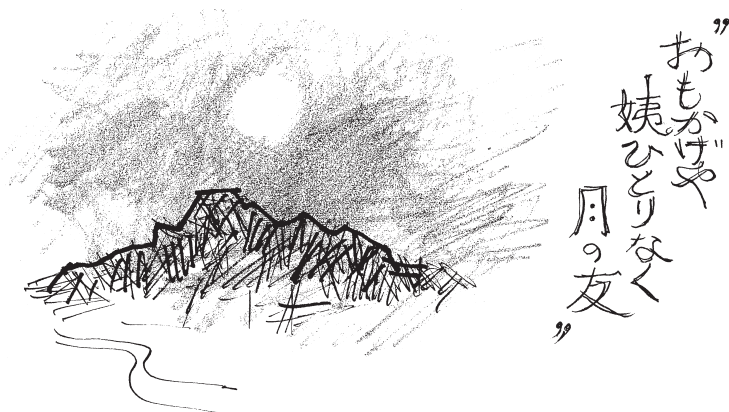
いい伝え

晴雨のまえぶれ

あす・あさっての天候を予知するてがかりとして、雲の動きが、まず恰好の対象となる。(雲が北へ動けば雨、南に動けば晴)、身近な山々の状態も天候予知の重要な手がかりとなる。「聖山が曇れば雨になる」は、この地域に伝わるまえぶれである。

雪のまえぶれ

「横手山へナゴ(霜)が三度くれば里にも雪が降る」は近くの山の霜や雪を初雪のくるまえぶれとしており、之に対し、年中行事の一定の日を雪の指標とする場合として「八幡のオネリ(大頭祭)には雪が降る」と、人々の体験の累積がこのようにいわれ、太田原では「アルプスの方で音がするとじき雪がくる」という予知もある。



23 高市社 (たかいちしゃ)



かつては稲荷山の各町々に商売繁盛の神として祀られ信仰を集めていたが、現在は治田神社境内に、社が移され毎年祭事が行われている。(荒町は飯縄稲荷神社境内に設置)

そうがっすや

(そうでしたか)



24 倉石忠雄銅像

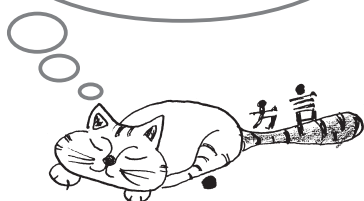
(くらいしただお)



製糸用まゆ問屋を経営していた倉石万平の子として生まれる。長野中学(現、長野高校)を経て、法政大学法科を卒業。その後ロンドン大学留学、社会政策を学ぶ。1947年第23回衆議院議員選挙に日本自由党公認で当選する。以後当選14回。1955年第3次鳩山内閣で労働大臣として初入閣。1958年の第2次岸内閣でも労働大臣を務める。その後も、農相、法務大臣を歴任。1983年政界を引退する。1986年11月8日死去。

はしっけ

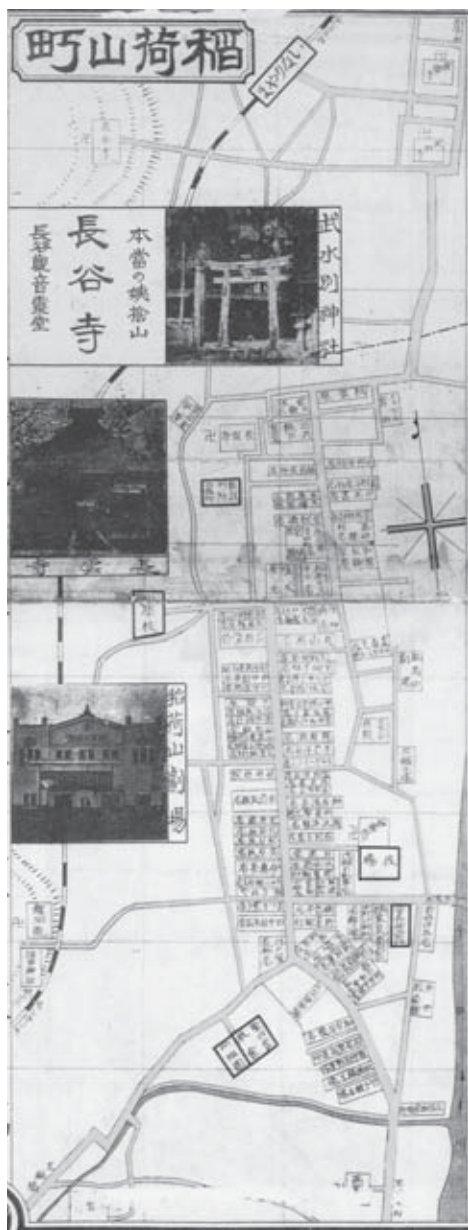
(すばしこい、ずるい)



治田公園の一面に設置
(福田赳夫元総理の書)



大正時代の地図



旧善光寺街道

マップ

馬場峠→桑原



■善光寺街道

慶長16年(1611)越後高田城主であった松平忠輝は矢代以北の宿場に対して「伝馬宿条目」を交付し、善光寺宿・丹波島宿などが公の宿場に定められた。慶長19年(1614)飯田から入封した松本城主の小笠原秀政は洗馬～麻績間の宿場制度を整えたことによって、猿ヶ馬場峠を越えて桑原や稲荷山と結ばれ、ここに北国西脇往還が成立した。

■馬場峠の由来

八幡村史によると番場峠は女峠の名をもっているの、古く戦国時代から裏街道(一本松峠に対して)往来があった峠である。峠に近い中原の言い伝えによると、武田信玄の家臣馬場美濃守が、主命によって開いた峠からこの名称がついた。此処に武田信玄の陣営があり、武士が馬競べをしている様子を付近にいた猿の群れが見て真似をしたことから、猿ヶ馬場峠といわれたりと書かれたりしているうちに、何時しかこのような名称で呼ぶようになったと思われる。